

霧島市まちづくり公開討論会 ローカルマニフェスト

氏名 前田 終止



I 基本理念(霧島市の現状認識・目指すべき霧島の姿)

(現状認識)

合併から4年経ち、この間、市民総親和を呼びかけ、新ふるさと「霧島市」への市民の一体感が生まれました。また行財政改革を進めた結果、市債残高を40億近く減少させることができましたが、厳しい財政状況にあることは変わりありません。更に「あれか、これか」という「選択と集中」の政策を徹底する必要があります。経済情勢の動向によっては企業・工場の雇用や消費低迷による地場産業への影響も懸念されます。こうした状況を打開するには霧島市のもつ、すばらしい「地域力」と「市民力」が力を発揮すると思います。市民と行政が「共生・共働・共助」し、人と人がささえあい、たすけあう地域づくりに取り組み、霧島市の歴史、文化、自然、環境、温泉、交通立地などを最大限活用し農林水産業、商工業、観光業の活性化を推進しなければなりません。

(目指す姿・長期構想)

1. 民意を反映する「市民が主役」の市政を推進し、「元気！霧島・市民力」のまちづくりを目指します。
2. 第一次霧島市総合計画のまちづくり7つの政策(①快適で魅力ある②自然にやさしい③活力ある産業④育み磨きあう⑤たすけあい支えあう⑥共生・協働⑦新たな行政経営)を確実に推進し、本市の将来像「人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市」の実現を目指します。
3. 未来の子供たちに借金を背負わせない健全な財政運営を行い、「この街に住みたい！住んでよかった！」と実感できる満足度の高い市民生活の実現を目指します。

すぐに行う重要施策 (優先順に3つ)

①医療体制の充実と健康づくりの推進

- ・民間病院との連携を強化し、救急医療体制の更なる充実
- ・診療科目の充実と不足診療科目の各科医師の安定確保
- ・ウォーキングラリーなど「市民健康づくり大作戦」の実施
- ・生活習慣病対策や食育の推進など総合的な健康づくり・生きがいづくりの指針である「健康きりしま21」の推進

②子育て環境の充実

- ・子育て世代応援プロジェクトの推進(ファミリーサポート・子育てサロン事業の充実)
- ・放課後児童クラブの施設整備、運営の更なる充実
- ・「子どもセンター」の新設
- ・不妊治療や乳幼児の健康管理への支援拡大
- ・0歳から未就園児への子育て支援

③教育環境の充実

- ・安心して学校に通い、学べるように校舎の耐震化率100%や通学路の安全施設対策
- ・基礎的な学力、体力を向上させ、道徳教育を推進、個性を伸ばす育成プラン
- ・「わんぱくきりしまっ子」育成プランの推進

4年間で行う重要施策 (優先順に3つ)

①健全な財政運営・信頼される行政運営の推進

- ・市民の意見を十分に取り入れ公正公平な歳入に見合った予算の編成
- ・地方債残高の縮小と緊急事態に対応できる基金の確保
- ・2013年度までに280人以上の職員削減(合併時と比較しての減員)
- ・各総合支所での1日移動市長室の実施
- ・環霧島会議による自治体の垣根を越えた環境、観光、防災及び教育などの連携

②生活基盤・交通体系の充実

- ・生活関連道路の整備、確保
- ・「霧島市景観条例」を制定し、良好な街並みの形成
- ・ふれあいバスのダイヤ、コースの弾力的な運用と民間交通との連携
- ・総合交通センター設置構想の具現化

③自然環境の保全、生活環境の向上

- ・ジオパーク認定推進に伴う自然保護と利活用
- ・生物資源を有効活用する「バイオマスタウン構想」の策定
- ・温室効果ガス削減に取り組むCO2CO2(コツコツ)運動の推進
- ・シカ対策など霧島山系の生態系保護と河川、湾奥の浄化推進
- ・生ごみリサイクル事業、ごみ減量化の全市実施

〈個別テーマ〉

氏名 前田 終止



①今後霧島における地域経済活性化(景気対策等)の具体策を優先順に3つ挙げてく

①・内容	雇用の促進	期限	4年	事業費	5千万円	財源	一般財源
手段	企業誘致パンフレット等を活用して県外企業を訪問し、さらなる企業誘致に努め、特に若い世代の雇用の場を確保する。リストラ、失業等に対する再チャレンジ支援を行う。						
②・内容	農林水産・商工業の振興	期限	4年	事業費	算定中	財源	一般財源・補助金等
手段	霧島ブランドを確立し全国へ発信。農業担い手や新規就農者、認定農家の育成支援。産卵礁や稚魚放流による「作り育てる漁業」の取組。学校給食など地場産品の域内消費拡大「地産知商」。プレミアム付商品券継続発行助成、商店街活性化イベント、中小企業活性化						
③・内容	観光業の振興	期限	4年	事業費	1億円	財源	一般財源
手段	大河ドラマ「龍馬伝」のロケ誘致。平成23年「全国お茶まつり大会」に続く、各種大会の誘致。霧島山の世界ジオパーク登録を実現させ、世界へ情報発信し、海外からの観光客を誘致。九州新幹線全線開通や高速道路無料化を見据えた交通、環境の整備。						

②暮らしやすい霧島を実現するための具体策を優先順に3つ挙げてください。

①・内容	交通体系の充実	期限	4年	事業費	10億円	財源	一般財源
手段	地域公共交通計画に示した地区別のふれあいバス等の見直し方針を具現化し、通勤、通学、通院、買い物及び各種イベント参加などの利便性を高める。						
②・内容	医療・福祉の充実	期限	4年	事業費	7億円	財源	一般財源・補助金等
手段	市立医師会医療センターの機能の充実や救急医療体制の更なる充実。生活習慣病予防、早期発見、早期治療の促進、食育などを通じた健康づくりの推進。障害をもつ方や高齢者への介護サービス、支援の充実。						
③・内容	交通安全・防犯・防災の推進	期限	4年	事業費	1億5千万円	財源	一般財源
手段	安心安全なまちづくりに関する意識の普及に努め、交通安全教室などの広報啓発活動及び交通安全施設の整備を行う。防犯パトロール隊の更なる拡充を図る。防災危機管理の運営強化、全市総合防災訓練などによる啓発活動。						

③上記2つ以外の重要課題を具体策に優先順に3つ挙げてください。

①・内容	学校教育施設の整備	期限	4年	事業費	33億円	財源	一般財源・補助金等
手段	耐震診断の結果、耐震強度不足と判断された校舎及び老朽化の著しい校舎の改修・改造工事を行う。						
②・内容	地域情報化基盤の整備	期限	4年	事業費	2億円	財源	一般財源・補助金等
手段	テレビの地上デジタル放送への全面移行に向けて、共同受信施設の整備を行うなど全世帯で視聴可能にする。						
③・内容	共生・共働・共助の活動支援	期限	4年	事業費	未定	財源	一般財源
手段	自治会を中心とした環境美化活動や健康づくりへの活動支援。地域おこしやグループやNPO法人との連携。介護サポーターの育成。各支所で定期的に「一日移動市長室」を開催し住民、職員との直接対話、現地調査などにより、地域の実情に迅速に対応する。						